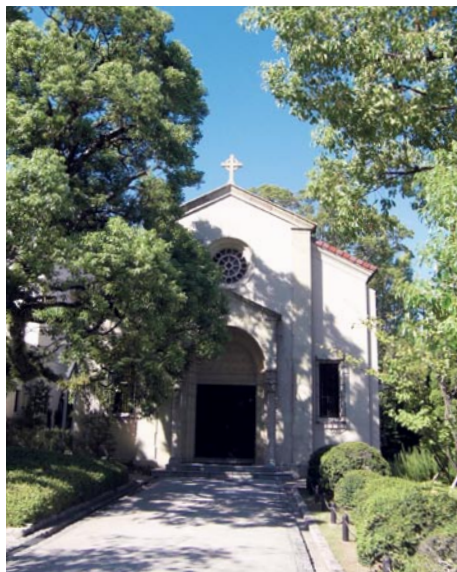


チャペル週報

あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。

(使徒言行録20:35)



2010.11.22~11.26 No.23
関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 11月15日(月) 神 鈴木 優 介(神4)
経 人間を考える⑤ 田 禾(経済学部助教)
人 佐原 郁 代(人間福祉学部教務補佐)
短大 聖書物語「五つのパンと二匹の魚」
-
- 11月16日(火) 神 松 平 陽 子(M2)
文 「日本・トルコ学生交流プログラム」
社 学生会宗教総部によるチャペル
法 音楽チャペル 関西学院聖歌隊
商 English Chapel Eun Ja Lee(宣教師)
国 音楽チャペル ゴスペルクワイア(P.O.V.)
教 田 淵 結(宗教主事)
総 宇 梶 朋 子(ICYE事務局長)
-
- 11月17日(水) 神 障がい者週間を覚えて 河 礼 子(MIRE音倶楽部代表)
社 共に生きる③ 岡 田 弥 生(社会学部教授)
法 上ヶ原ハビタット
経 人間を考える⑥ 山 田 仁(経済学部准教授)
商 Global Village(海外での家建築活動)活動報告 上ヶ原ハビタット
人 安 田 美予子(人間福祉学部教授)
教 森 本 宮仁子(聖和短期大学非常勤講師)
理 賛美礼拝 理工学部アンサンブル
総 中 條 道 雄(総合政策学部教授)
-
- 11月18日(木) 神 服 部 多 朗(M2)
文 音楽チャペル・ハンドベルクワイア
社 秋の音楽チャペル③ パロックアンサンブル
法 河 村 克 俊(法学部教授)
国 Eun Ja Lee(宣教師)
総 日本・トルコ交流プロジェクト報告
短大 井上理子(教育学部事務室)吉田七穂(教育学部教務補佐)
-
- 11月19日(金) 院 阿 部 駿一郎(神学部院生)
神 青 木 盛(JOCSパキスタン派遣ワーカー・医師)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(宗教主事)
経 Music Chapel Timothy Dale Boyle(宣教師)
人 嶺 重 淑(宗教主事)
教 和 田 薫(教育学部准教授)
理 「クリスマスを迎えるために」映像に学ぶ
-

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:20～8:40 於：ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
11月19日(金) 教育学部のために 日 浦 直 実

「99年の愛～ジャパニーズアメリカン」

テイモシー D. ボイル

今月の第一週、「99年の愛～ジャパニーズアメリカン」という10時間に及ぶ連続テレビドラマを見て、感動した。見る暇がないと自分に言いながら、戦時中収容所に入れられた日系アメリカ人の友人も多く、どうしても見たかった。実際の歴史にかなり忠実な物語だったが、日本向けのストーリーだったので、日系アメリカ人が皆完璧な日本語で話していた、現実と全く合わないこともあった。しかし、それはしょうがないことだ。

脚本によると、1911年に平松長吉という青年が貧しい小作の家を離れ、アメリカのシアトルに仕事を求めてきた。日系移民者は偏見の多いアメリカ社会に溶け込むことは無理とは承知で、頑張ったせいで、何年もかけて、立派な農場を作り上げた。「写真花嫁」として渡米した妻との間に、4人の子供が与えられた。1940年頃の緊迫していた日米関係の中で、安全と思われた日本に二人の若い娘を親族に送り出して、20歳と18歳の息子たちと共に、落ち着くまで、農場を守ろうとした。

しかし、真珠湾攻撃と戦争の勃発が計画を狂わせた。平松家が西海岸にいた12万人の日系人と共に、財産をただ同然で処分させられ、急ピッチで作られた収容所に余儀なく入れられた。そして、日本に送られた二人の娘もひどい扱いを受け、一人が広島で、もう一人が沖縄で戦争の終結を待っていた。広島にいた娘が被爆者となり、沖縄戦で命拾いした妹と再会はできたが、怪我が回復しないままで死んだ。次女が生まれた国に、そして自分の家族にも見捨てられた気分で、戦後の混乱の中で消息が消えて行く。

アメリカでは、日系人が軽蔑され、敵国の人間としてしか見られなかったので、収容所に入れられた二世たちの内に、千人ほどの志願者で、ヨーロッパで戦った442部隊が形成された。主人公の平松一郎がその一人で、他のアメリカ兵を救助している内に命を落とした。戦後、大統領の演説の中で、442部隊の戦いぶりを高く評価して、その評判が全土に知り渡った。そのおかげで、一般アメリカ人の尊敬を獲得し、受け入れるようになった。ストーリーの中で、平松農場を奪い取った白人がお詫びをして、返すことになったため、残っていた家族と知り合いの日系人が生計を立て直して成功した。そして、2010年に残っていた次男と次女の再会が実現し、「99年の愛」が実を結んだ。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」(ヨハネ15:13) 平松一郎とその他の日系二世の犠牲によって、差別と偏見を乗り越えることができた。

ストーリー全体が戦争の恐ろしさと愚かさ、原爆の廃止、不当な差別を力強く訴える。とても見る価値のある番組なので、多くの人に見て欲しいと思った。

(宣教師)

●第186回ランバス演奏会のご案内

「古き良きイギリスの愛の歌」

平井満美子 (ソプラノ)、佐野健二 (リュート)

演 目：流れよわが涙、まきびとひつじを、こよなく美しい島、ほか

と き：12月2日(木)17:00開演

と ころ：ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)

主 催：関西学院宗教センター <入場無料>

平井満美子と佐野健二のデュオは世界でも数少ないルネサンス、バロックリュート歌曲のスペシャリストです。現在までに発売されたデュオCD6点全ては雑誌「レコード芸術」の推薦盤に選ばれ、デュオリサイタルに対しては「大阪文化祭本賞」を受賞するなど各方面から注目されています。

●キリスト教と文化研究センター主催講演会

VOCATION「召命-呼ばれることについて」

と き：11月25日(木)15:10～16:40

と ころ：B号館103教室 (西宮上ヶ原キャンパス)

講 師：内田 樹 (神戸女学院大学教授)

講師プロフィール：専門はフランス現代思想、映画論、武道論。

著作に『先生はえらい』『下流志向』『私家版・ユダヤ文化論』
(小林秀雄賞受賞)『日本辺境論』(新書大賞受賞)。

●ランバスチャペルアワー

学部の枠を超えて集まった学生主体のチャペルがランバスチャペルアワーです。秋学期の予定は以下のとおりです。

11月30日(火)「KGブランドの皮革」

ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原キャンパス) にて10:35～11:05

●冬の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、秋の献血週間を実施いたします。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いいたします。

期 間：12月6日(月)～10日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週金曜日にチャペルアワーを開催しています。

11月26日(金)18:00～18:20 1405教室

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費はチャリティーとしてアジアにおける奉仕活動などのために献金させていただきます。

開催日時：12月20日(月)17:30開場 18:30開始

参 加 費：2000円

チケット販売：関西学院大学生協／チケットぴあ／ザ・シンフォニーホール
プレイガイド